



福知山公立大学

The University of Fukuchiyama

資料1

教育研究環境の充実について

1 大学院の設置（学部教育の充実）に向けて取り組む施設整備

■施設整備案

- 福知山公立大学の情報学部を中軸とした新たな大学院は、教育・研究の一体性確保の観点から学部と同一校舎が望ましいため、既存施設を最大限活用して1号館に学部・院機能を集約する。
- 学部・院機能の集約化に伴い、現在1号館にある事務局機能を移転し、キャンパス内に別途整備する。

■大学院の設置に当面必要な施設整備案

用途	必要数	新たに1号館で整備予定	備考
演習室	19	15	1号館に演習機能を集約
教員研究室	19	—	1号館に研究機能を集約
実験室	2	—	3号館及びその他施設にて確保
共同利用・貸出研究室	2	—	3号館及びその他施設にて確保

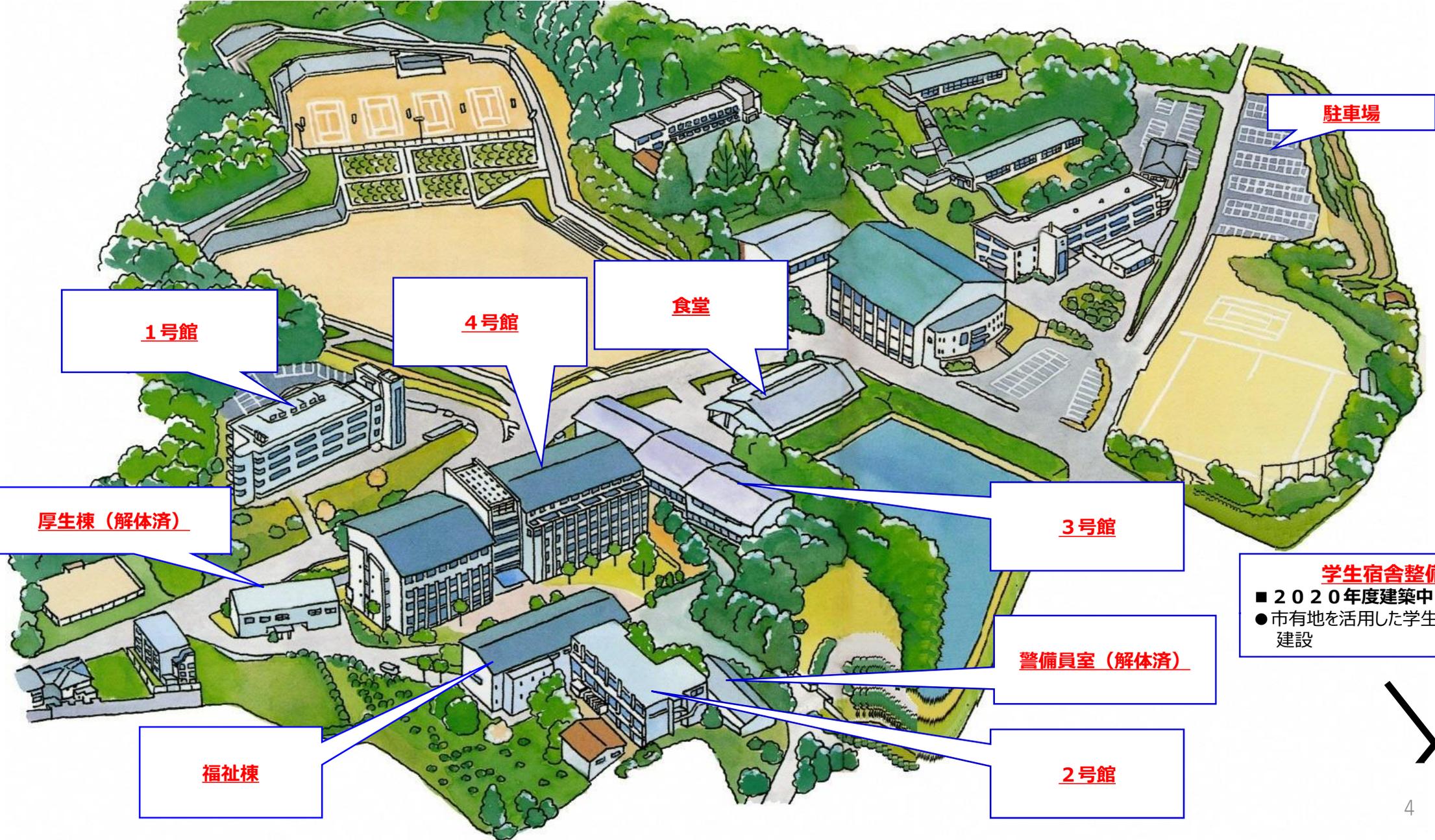
■その他教育環境整備に向けて

- 「知の拠点」と位置付ける福知山公立大学と京都工芸繊維大学が、キャンパス隣接の強みを活かし、共同研究や施設の相互利用などを通じて今後さらに教育・研究の強化に努めていくことが重要である。
- キャンパス建物の老朽化対策は、本年度策定する長寿命化計画に基づき施設管理を計画的に行うとともに、キャンパスの拡充は長期的な視点に立ち大学の教育研究のあり方や財政状況を踏まえて検討を行う。

2 福利厚生施設等必要な施設整備

- サークル室や休憩室などの交流スペースについては、既存施設を最大限活用しつつ、必要な施設については計画的な整備を検討する。
- 体育館については、キャンパス内での新設は現状スペース的に困難であるため、代替施設の検討や廃校となった体育館の活用等について検討する。
- 食堂機能の拡充については、民間企業の参入（P F I 等）など多様な手法も視野に検討する。
- アクセス道路の整備による路線バスの参入など学生の通学環境の利便性向上を図るとともに、駐車場の確保については、今後の学生等の増加と利用状況を勘案し、必要に応じて近隣の遊休地の活用等も含めた確保策を検討する。

福知山公立大学キャンパスマップ



2 福知山公立大学 年次スケジュール

